

資料②

高梁市成羽町

成美コミュニティ推進協議会

地区防災計画

～「守ろう我が身 我が成美」～

令和4年5月

目 次

— 成美地区活動目標 —	1
<u>1. 地区の概要</u>	2
(1) 地区の範囲	2
(2) 地区の特徴	2
(3) 地区の災害	2
<u>2. 防災活動</u>	3
(1) 平常時の活動	3
(2) 災害時の活動	7
(3) 復旧時の活動	9
<u>3. 避難所・関係機関・資機材</u>	10
(1) 避難所	10
(2) 関係機関連絡先	11
(3) 資機材	11
<u>4. 計画の見直し</u>	11

“ 守ろう我が身 我が成美 ”

「地区防災計画の理念」

平成30年7月豪雨は、本市の高梁川や成羽川沿いで大規模な浸水被害を発生させ、市内の各所でも土砂災害を発生させるなど、大規模な被害を生じさせました。

我がまち成美地区でも成羽川や島木川沿いの新張丁を中心に周辺で内水による浸水が発生し、多くの住民が被害を受けました。土砂災害は無かったものの、土砂災害警戒区域は多数あり、成美地区の被害がいつ拡大してもおかしくない状況でした。

近年全国各地で大規模かつ甚大な災害が発生しており、いつ、どこで甚大な災害が発生するか分からない状況です。そのような中、成美地区でも成羽川や島木川の増水による浸水や土砂災害による甚大な被害の発生が容易に想像できます。そこで「早く避難していれば」「備えていれば」「あの時こえをかけていれば」とならないよう、もしもに備える「成美地区防災計画」を作成することとしました。

防災は「我がこと」と成美地域のみんなが考えて、日頃からひとりひとりが防災計画により「自分のことは自分で守る」「我が地域をみんなで守る」ことを念頭に、川沿いや山際など各町内会の状況にあった備えが出来ている。

そんな地域を目指すとともに、目標の“守ろう我が身 我が成美”に向けて取り組みましょう。

令和4年5月
成美コミュニティ推進協議会

1. 地区の概要

まずは、みんなの住んでいる地区の状況を知りましょう。

(1) 地区の範囲

成羽町成羽及び成羽町羽山

羽山、新山、佐原、山本上、山本下、天神ヶ丘、天満町、西枝、枝中央、東枝、中渡町、成美台、成美町、小滝、下市大谷、新張丁、古町下ノ丁、古町中ノ丁、櫻丁、古町上ノ丁、住友丁、城の西

(2 2 町内会)

(2) 地区の特徴

- ・河川の沿川と山間地の両方から成る
- ・道路の崩落があると避難経路がふさがれる地区がある（山間地）
- ・新山町内、山本地域から小泉地域へ向かう道路は多少の雨で崩落する可能性が高い。
- ・新山町内へはアクセス道が1本しかない。
- ・枝、山本、佐原、新山地域は地すべり地域
- ・島木川の島木橋付近は河川改修済み。内水は未対応
- ・管理が不安なため池が2か所ある。

(3) 地区の災害

①想定される災害

- ・成羽川氾濫
- ・内水氾濫
- ・土砂災害
- ・ため池氾濫
- ・地震（南海トラフ巨大地震想定最大震度5強）

②過去の災害

- ・新山町内、山本地域から小泉地域へ向かう道路の崩落
- ・住友電工焼結合金周辺は、成羽川への水門閉鎖により新張ポンプ場方面へ流れるが、降雨が多い時は浸水
- ・成羽川への水門閉鎖による古町上ノ丁あたりの畑の浸水
- ・数年前に「馬神池」が決壊（水抜済み）

※平成30年7月豪雨時の主な災害

- ・浸水被害：住友丁、古町上ノ丁、古町中ノ丁、古町下ノ丁、新張丁、櫻町、下市大谷
- ・床上浸水：20棟
- ・床下浸水：12棟

2. 防災活動

活動目標に向けて、平常時や災害時の活動を訓練などで確認して、不備、不足があればその都度見直して、活動目標の達成を目指しましょう。

※活動内容については、成美コミュニティ推進協議会が現時点で活動目標達成のために必要と考える事項や時期などを記載していますが、各町内会単位で協議し、それぞれの町内会や住民に適した事項を無理のない範囲で出来ることから実施し、見直していきましょう。

(1) 平常時の活動

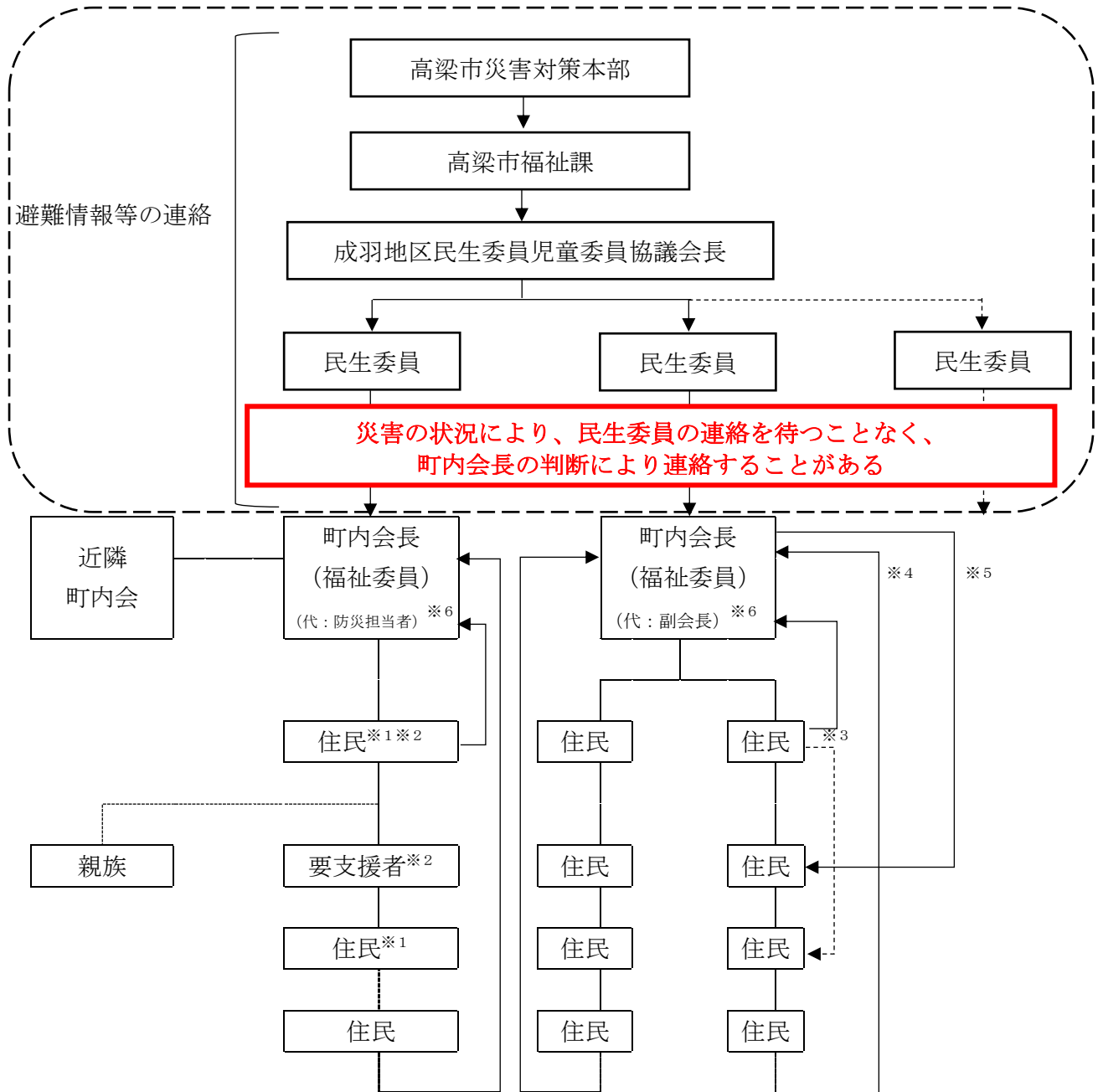
※「何を」「いつ」については、各町内会単位で協議し、それぞれの町内会や住民に合った活動を行いましょ。

誰が	何を	いつ
成美コミュニティ 推進協議会	住民参加による避難訓練の実施（企画、運営）	毎年計画
	避難所の確認（一次避難所、指定避難所、自主避難所）	毎年度初め
	自主避難所における防災資機材、備蓄食料（保存食）の管理と整備	毎年計画
	早期の避難が必要な者の把握（土砂災害警戒区域等）	都度
	町内会ごとの避難所や避難行動のタイミングを把握	毎年度初め
	協議会と町内会長（代理含む）の連絡網の整備と町内会連絡網の把握	毎年度初め
	地区防災計画の見直し	避難訓練後 災害活動後
	地区防災計画の周知	毎年計画
	防災マップの作成支援・全体取りまとめ	初回、毎年 度確認・更 新
町内会と連携した防災研修会（マイ・タイムライン作成など）の実施 （地域イベントとあわせた継続的な実施）	毎年計画	
各町内会	家族構成の把握 ・高齢者、要支援者などの有無 ・昼、夜の状況	毎年度初め とし、修正 は都度

各町内会	<p>連絡網を整備して配布(連絡網概略図を参考に毎年度整備して配布)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各家庭の固定電話+携帯電話 ・近隣町内会の連絡先 ・要支援者の連絡先は、市外の親族の連絡先も把握(必ず連絡がとれること) ・町内会長の代理者を決めて、連絡網に反映 ・各家庭の避難方法の把握(一次避難所、縁故避難、在宅避難) 	全体は毎年度初めに整備し、修正は都度
	<p>地域の事業所との連絡網を作成(町内会未加入者との連絡網を作成)</p>	毎年度初めとし、修正は都度
	<p>避難所の確認(一次避難所、指定避難所、自主避難所)</p>	変更時
	<p>避難経路の確認</p>	訓練時
	<p>避難所の必要装備品の確認・整備(一次避難所)</p>	毎年度始め 避難訓練後 災害活動後
	<p>町内の事前パトロール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険箇所の把握(市・県への改修依頼) ・公共設備(ポンプ、水門、道路など)の点検・改修状況を市・県へ確認 	都度
	<p>協議会と連携した防災研修会の実施</p>	—
	<p>避難訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主訓練の実施 ・市・コミュニティ推進協議会主催の訓練に参加 ・住民の参加呼びかけ ・訓練後の住民意見の収集 	—
	<p>住民と防災マップを作成、協議会へ報告</p>	初回、毎年度確認・更新
	<p>マイ・タイムライン(大雨時の私の行動計画)の作成</p>	都度
<p>避難訓練、防災マップ作成、防災研修会への参加</p>	—	

各住民	避難所の確認（一次避難所、指定避難所、自主避難所）	変更時
	避難経路の確認	日頃から
	自宅周辺の危険度の把握 （浸水区域、土砂災害警戒区域、よく崩れる箇所等の確認）	日頃から
	___色の旗を準備し、玄関に置いておく	—
	非常持出品の確認（使用・賞味期限など） <input type="checkbox"/> 食料品（3日分） <input type="checkbox"/> 飲料水（一人当たり1日3リットル） <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 常備薬 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> 消毒液 <input type="checkbox"/> ティッシュ <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ <input type="checkbox"/> 貴重品（ <input type="checkbox"/> 通帳、 <input type="checkbox"/> 印鑑、 <input type="checkbox"/> 保険証、 <input type="checkbox"/> ） <input type="checkbox"/>	日頃から

[連絡網 概略図]



- ※ 1. 住民は回覧板順など各町内会のルールにより行う。
- ※ 2. 要支援者に連絡が取れなければ、親族に連絡して次の住民に連絡するとともに、町内会長に連絡する。
- ※ 3. 連絡が取れなければ、次の住民に連絡するとともに、町内会長に連絡する。
- ※ 4. 最後の住民は、町内会長に連絡する。
- ※ 5. 町内会長は、連絡が取れなかった住民に連絡する。
- ※ 6. 町内会長の代理者については、各町内会の実情に応じて決定する。

(2) 災害時の活動

【風水害版】※本表は災害時の活動チェックに使用します。

※「何をする」の内容やタイミングについては、各町内会単位で協議し、それぞれの町内会や住民に合った活動を行いましょよう。

気象情報・避難情報 【発令者】	誰が	何をする	チェック
	住民	気象情報をテレビ等で収集 黒鳥ダム放流量、水位計情報を「国土交通省ホームページ：川の防災情報」で確認 成羽雨量計の雨量を「岡山県ホームページ：おかやま防災ポータル」で確認 河川監視カメラを「吉備ケーブルテレビ」で確認 非常持出品を玄関に準備 水・食料を確保	<input type="checkbox"/>
大雨・台風接近 予報日の2～3日前 【気象庁】	理事	自主避難所の設置準備を始める	<input type="checkbox"/>
	理事、町内会長、隣近所	早期の避難が必要な者、要支援者を自主避難所への避難準備を促す	<input type="checkbox"/>
	理事	自主避難所の避難状況を地域局へ報告	<input type="checkbox"/>
大雨注意報 洪水注意報 【気象庁】 警戒レベル2相当 又は 長雨時 ＋ 河川監視カメラ、水位計情報、用水の水位状況により避難経路の確認が必要と判断した場合	住民	気象情報をテレビ等で収集 気象庁のホームページで「キキクル」を確認 気象状況によって避難の準備を始める 隣近所で連絡を取り合う	<input type="checkbox"/>
	町内の担当者 (新張丁)	避難経路の状況を確認し、町内会長へ電話連絡	<input type="checkbox"/>
	町内会長（新張丁）	町内の防災委員と住民に連絡網を用いて、避難経路の状況を電話連絡 隣接町内会長へ避難経路の状況を電話連絡	<input type="checkbox"/>
大雨警報 (土砂災害、浸水害) 【気象庁】 警戒レベル3相当	町内会長	一次避難所の被害の有無を確認 一次避難所の鍵を開ける (タイミング要検討)	<input type="checkbox"/>
	町内会長	連絡網を用いて要支援者の安否を確認	<input type="checkbox"/>

大雨警報 (土砂災害、浸水害) 【気象庁】 警戒レベル3相当	住民 (山沿い)	成羽雨量計の1時間雨量を確認し、___mmを超えたら一次避難所へ避難を開始	<input type="checkbox"/>
	町内会長 (山沿い)	成羽雨量計の1時間雨量を確認し、___mmを超えたら連絡網を用いて、町内住民に一次避難所への避難を促す 一次避難所の避難状況を地域局へ報告	<input type="checkbox"/>
	住民 (川沿い)	黒鳥ダムの放流量を確認し、1,800 m ³ /sを超えたら一次避難所へ避難を開始	<input type="checkbox"/>
	町内会長 (川沿い)	黒鳥ダムの放流量を確認し、1,800 m ³ /sを超えたら連絡網を用いて、町内住民に一次避難所への避難を促す 一次避難所の避難状況を地域局へ報告	<input type="checkbox"/>
高齢者等避難 【市】 警戒レベル3	町内会長	一次避難所の被害の有無を確認 一次避難所の鍵を開ける 一次避難所の避難状況を地域局へ報告	<input type="checkbox"/>
	町内会長	連絡網を用いて町内住民に高齢者等避難発令を伝達し、安否及び避難先を確認	<input type="checkbox"/>
	民生委員	福祉委員に高齢者等避難発令を伝達	<input type="checkbox"/>
	町内会長、福祉委員など	要支援者に避難を促し、要支援者の移動を支援	<input type="checkbox"/>
	町内会長	町内住民から避難経路の問題の報告があったら、町内住民に周知	<input type="checkbox"/>
	町内会長、住民	一次避難所から指定避難所への移動を協議	<input type="checkbox"/>
避難指示 【市】 警戒レベル4	町内会長	連絡網を用いて町内住民に避難指示発令を伝達し、安否及び避難先を確認	<input type="checkbox"/>
	民生委員	福祉委員に避難指示発令を伝達	<input type="checkbox"/>
	町内会長、福祉委員など	再度、要支援者に避難を促し、要支援者の移動を支援	<input type="checkbox"/>
	要支援者	避難を完了	<input type="checkbox"/>
	住民	避難所へ避難を開始	<input type="checkbox"/>
	住民	避難を完了	<input type="checkbox"/>
	町内会長	一次避難所の避難状況を地域局へ報告	<input type="checkbox"/>
緊急安全確保 【市】 警戒レベル5	町内会長	避難所で町内住民全員の安否確認 安否状況を地域局へ報告	<input type="checkbox"/>
	住民	自宅での避難で安全が確保されている場合は、軒先に___色の旗を掲げる	<input type="checkbox"/>

※詳細なタイミング（避難開始の1時間雨量___mmなど）や安全確保時の軒先の旗の色は各町内会で定める。

※指定避難所に避難した場合、成美コミュニティ推進協議会役員は避難所運営に協力する。

【地震版】 震度5弱以上または家具転倒などで身の危険を感じた時

※「何をする」の内容やタイミングについては、各町内会単位で協議し、それぞれの町内会や住民に合った活動を行いましょう。

経過時間	誰が	何をする	チェック
発生直後	住民	身の安全確保	<input type="checkbox"/>
1時間後まで	町内会長	一次避難所の被害の有無を確認 一次避難所の鍵を開ける	<input type="checkbox"/>
	町内会長	連絡網を用いて町内住民の安否を確認	<input type="checkbox"/>
	町内会長	連絡網を用いて町内住民の安否を確認するとともに以下を確認し、町内住民に一次避難所への避難を促す（さらなる余震による家具転倒など危険と判断した場合） ・住民のケガの有無 ・ライフラインの異常の有無 ・災害発生の有無	<input type="checkbox"/>
	住民	避難所へ避難を開始	<input type="checkbox"/>
6時間後まで	町内会長	町内の情報収集・整理	<input type="checkbox"/>
	住民	避難を完了 自宅での避難で安全が確保させている場合は、軒先に___色の旗を掲げる	<input type="checkbox"/>
	町内会長	一次避難所の避難状況を地域局へ報告	<input type="checkbox"/>

※安全確保時の軒先の旗の色は各町内会で定める

(3) 復旧時の活動 ※災害後、地域で被災者を支援する活動

誰が	何をする
理事	救護用品の不足、給食給水の不足を確認し、地域局に調達を依頼

3. 避難所・関係機関・資機材

どこに何があるのか、もしもの時の連絡先はどこなのかを確認しましょう。

(1) 避難所

類別	地区	施設名 (☆) ※	洪水	土砂	地震	開設者	
						氏名	電話番号
一次避難所	羽山						
	新山	なりわ運動公園 (協議必要)					
	佐原						
	山本上	集会所					
	山本下	集会所					
	天神ヶ丘						
	天満町						
	西枝						
	枝中央						
	東枝						
	中渡町						
	成美台						
	成美町						
	小滝						
	下市大谷	成美コミュニティセンター	○	○	○		
	新張丁	成美コミュニティセンター	○	○	○		
	古町下ノ丁	成美コミュニティセンター	○	○	○		
	古町中ノ丁	成美コミュニティセンター	○	○	○		
	櫻丁	成美コミュニティセンター	○	○	○		
古町上ノ丁	成美コミュニティセンター	○	○	○			
住友丁	成美コミュニティセンター	○	○	○			
城の西	成美コミュニティセンター	○	○	○			
指定避難所	全地区	成羽体育館	○	○	○		
		成羽こども園	○	○	○		
		成羽中学校	○	×	○		
		成羽小学校	○	×	○		

※施設名の横に「☆」がある避難所は、自主避難所となる避難所

※成美コミュニティセンターは指定避難所であるが、一次避難所として使用する

※電話が設置させている施設

施設名	電話番号	施設名	電話番号
成美コミュニティセンター	42-3383	成羽こども園	42-2011
成羽中学校	42-2176	成羽小学校	42-2034

(2) 関連機関連絡先

目的	機関名	電話番号
避難状況等報告 水道関係（断水、漏水）	成羽地域局	42-3211
市道・農道・田畑被害等	西部土木事務所	45-4510
避難情報、避難所開設情報	防災復興推進課	21-0246
火災、救急	消防署	119
国道・県道・河川被害等	岡山県備中県民局建設部高梁地域維持補修課	21-2855
交通事故、行方不明	高梁警察署	110
	成羽交番	42-2515
停電	中国電力 高梁ネットワークセンター	0120-413-826

(3) 資機材

物品	数量	保管場所	備考

4. 計画の見直し

本計画は、避難訓練実施後や災害時の活動後に、成美コミュニティ推進協議会が見直しの必要な事項がないかを協議する。見直しを行った場合は、地区住民に周知するとともに、高梁市に見直し後の地区防災計画を提出する。